

「令和2年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）（関東農政局管内）」10月30日公表の補足資料

関東農政局統計部

【千葉県の作柄概況】

図 作柄表示地帯別10a当たり予想収量及び作況指数（10月15日現在）

1 千葉県における令和2年産水稻の作付面積（子実用）は5万5,400haで、前年産に比べ600ha減少した。
また、主食用作付面積は5万2,500haとなった。

2 全もみ数（穂数×1穂当たりもみ数）は、穂数が平年並み、1穂当たりもみ数がやや多いことから「やや多い」となった。

3 登熟は、出穂前の寡照多雨の影響に加え、全もみ数がやや多い相反作用により「やや不良」が見込まれる。

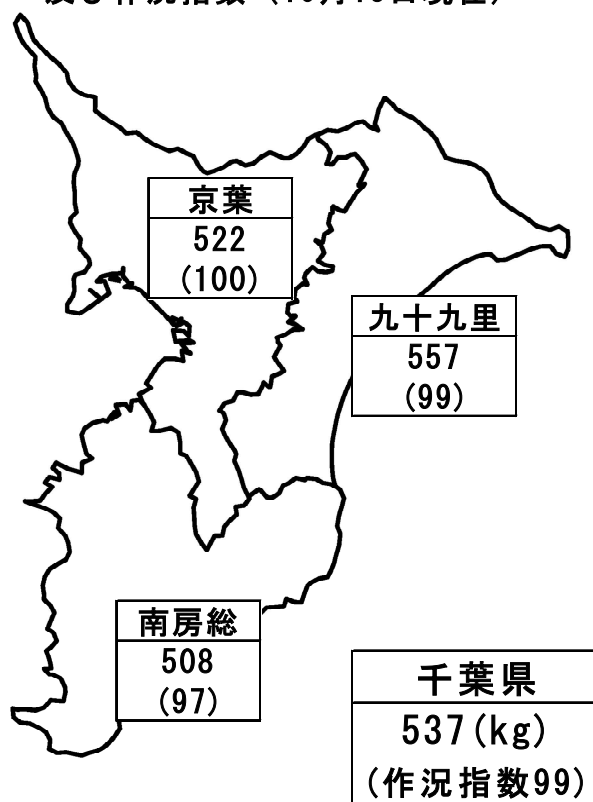
4 この結果、千葉県の10a当たり予想収量は537kgで、前年産に比べ21kgの増加が見込まれる。

また、作柄表示地帯別では、京葉で522kg（前年産に比べ17kg増加）、九十九里で557kg（同32kg増加）、南房総で508kg（同1kg減少）が見込まれる。

なお、農家等が使用しているふるい目幅（1.80mm）で選別された千葉県の作況指数は99が見込まれ、作柄表示地帯別では、京葉で100、九十九里で99、南房総で97が見込まれる。

5 以上のことから、予想収穫量（子実用）は29万7,500tで、前年産に比べ8,500tの増加が見込まれる。

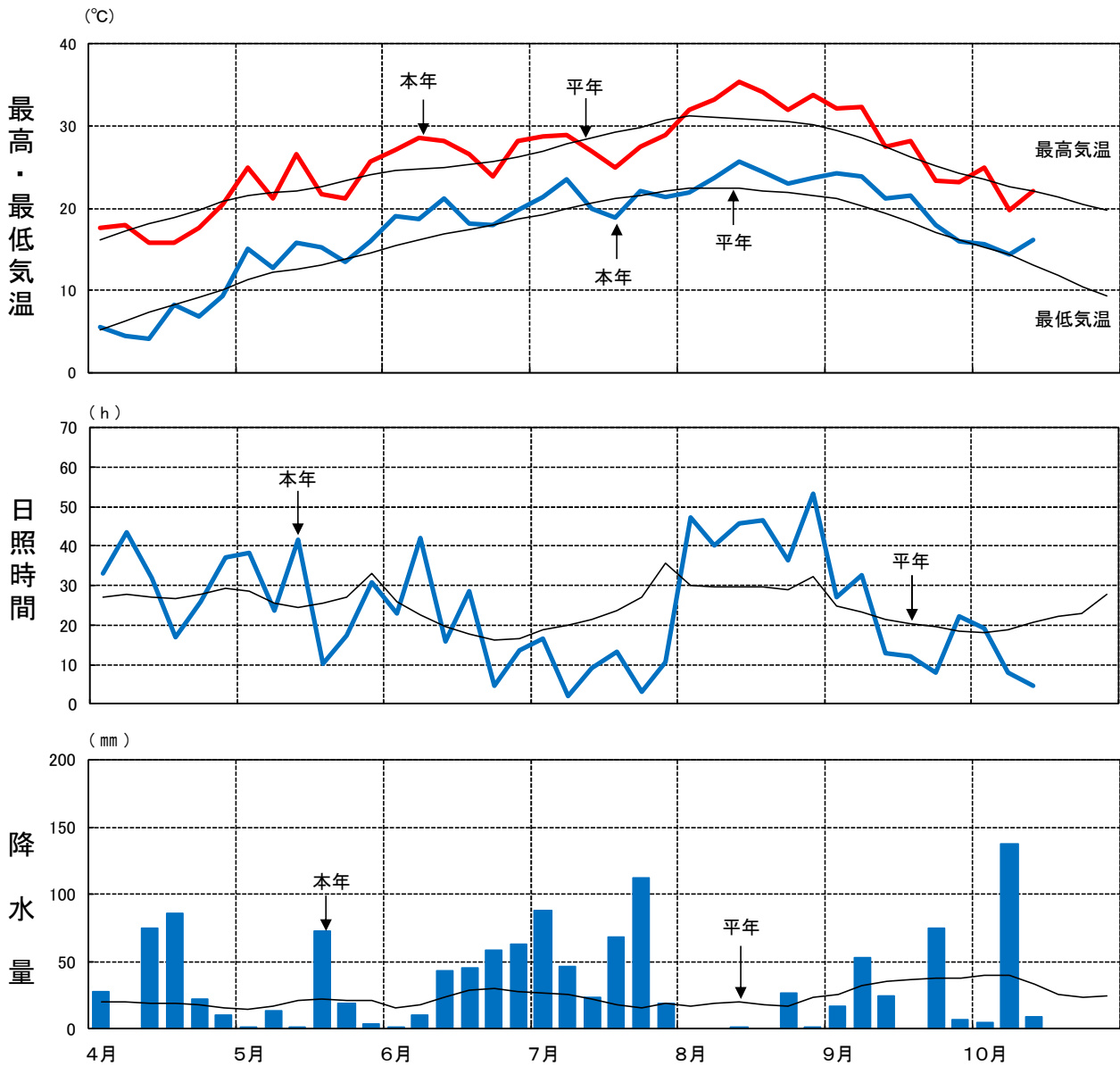
また、主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は28万1,900tで、前年産に比べ4,800tの増加が見込まれる。



○ この資料は、「令和2年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）（関東農政局管内）」10月30日公表の補足資料として作成したものです。
詳細については同公表資料を御覧ください。

本資料は、関東農政局ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。
【 https://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/ 】

令和2年 半旬別気象（佐倉）



資料：気象庁

田植期
4/28(±0)

出穂期
7/21(Δ2)

刈取期
9/1(Δ3)

注：田植期、出穂期及び刈取期の期日は、いずれも最盛期を示す。
なお、()内は、平年との遅速(日数)を示す。

お問合せ先

◎本統計調査結果について
 関東農政局 千葉県拠点 統計チーム
 電話：043-253-9212
 F A X：043-253-9216